

平成 29 年 7 月 21 日 (金)

記 者 発 表 資 料

「首都圏の水がめ」、利根川及び荒川水系のダム貯水状況について

- 関東地方整備局および水資源機構では、利根川水系で 12 のダム(利根川上流域に 8 ダム、鬼怒川上流域に 4 ダム)、荒川水系では 4 つのダムを管理しています。これらのダムの貯水状況に関する社会的関心が高まってきていることから、当面の間、ダムの貯水状況を気象予報(気象庁発表の 1 か月予報、3 か月予報等)と合わせ、毎週金曜日にお知らせしています。《別紙－1》

【7 月 20 日 0 時現在のダム貯水概況】

7 月 20 日 0 時現在	有効容量 (万 m ³)	合計貯水量 (万 m ³)	貯水率 (%)	先週(7 月 13 日) の貯水量 (万 m ³)	先週から の増減量 (万 m ³)
利根川上流 8 ダム	34,349	30,323	88	30,161	162 増
鬼怒川上流 4 ダム	15,140	10,905	72	11,273	368 減
荒川上流 4 ダム	7,648	4,529	59	4,745	216 減

なお、日々のダムの貯水状況はインターネットにより、下記 URL からご確認いただけます。

★関東地方の上流ダム群等の貯水状況(関東地方整備局 ホームページ)★

URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/index00000010.html>

7 月 1 日より、利水のために貯留可能な容量が夏期制限容量に移行するため、貯水率の表記が変わっております。

詳細は別紙－2 をご覧ください。

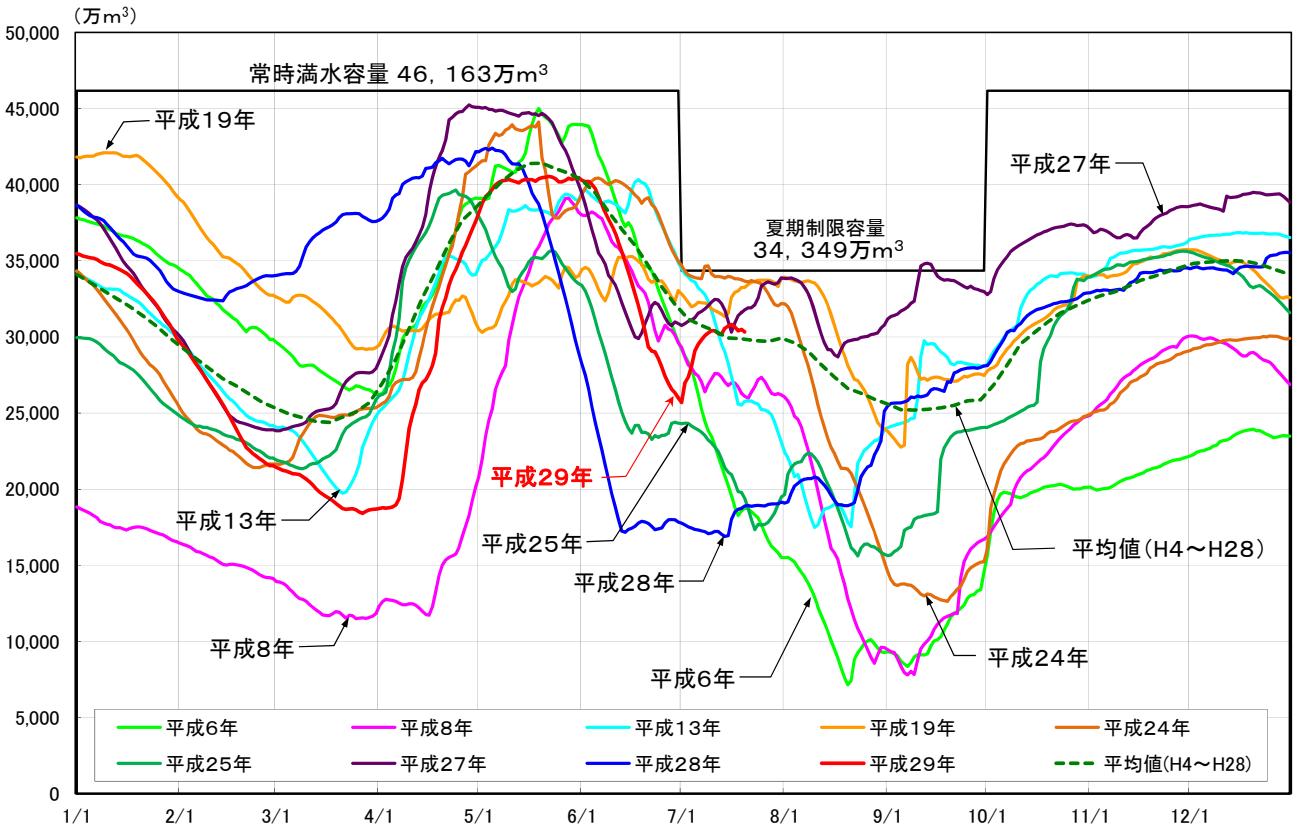
発 表 記 者 ク ラ ブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

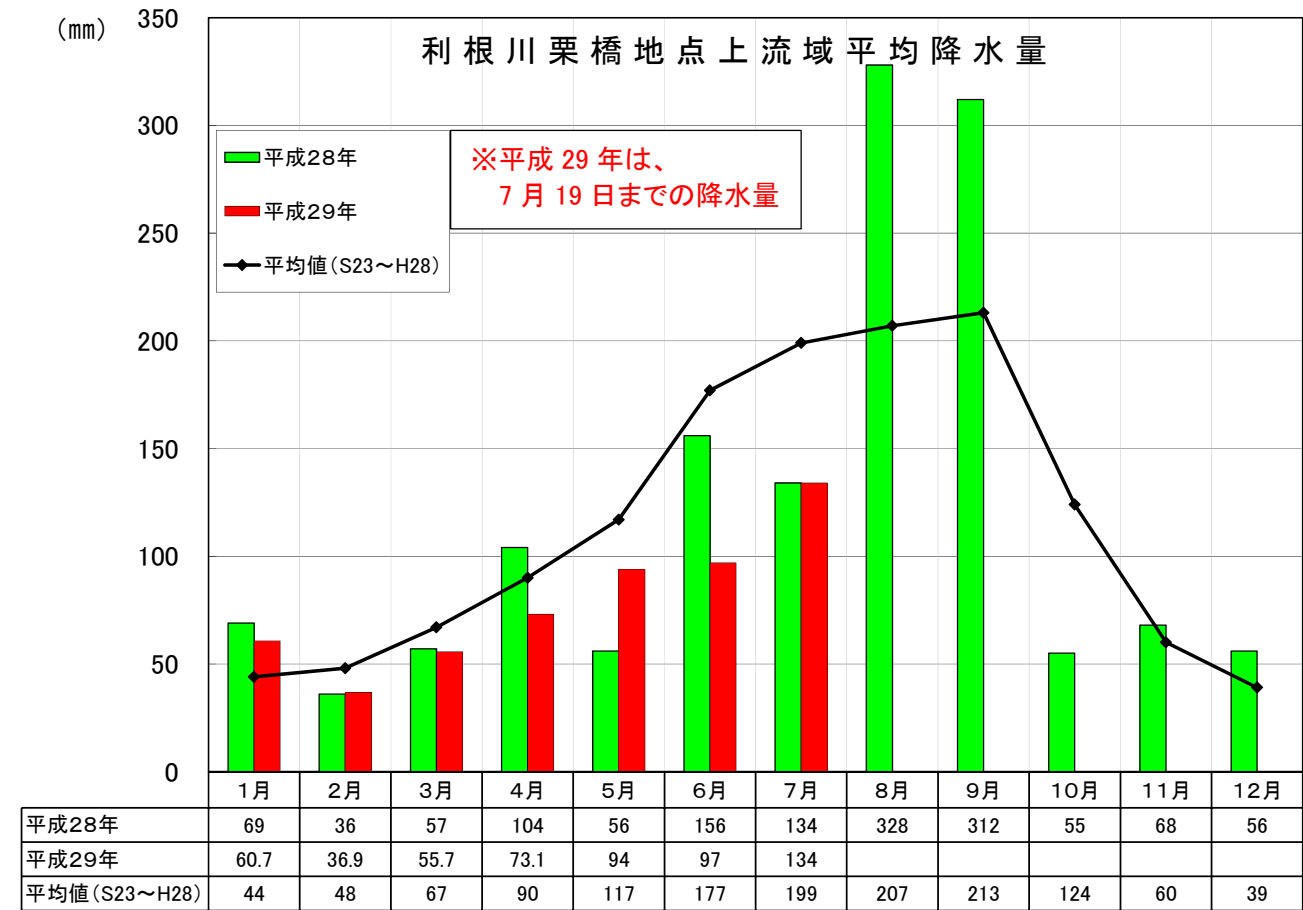
問 い 合 わ せ 先

国土交通省	独立行政法人水資源機構
関東地方整備局 河川部	総務部広報課
河川環境課	
河川環境課長 かげやま きよ 影山 希世	広報課長 かわい よしゆき 河合 佳之
(内線) 3 6 5 1	副 参 事 いしやま こうたろう 石山 功太郎
建設専門官 のぶつね こうじ 延常 浩次	
(内線) 3 6 5 2	
住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 2－1	住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 11－2
さいたま新都心合同庁舎 2 号館	ランドアクシスター内
電話：048(601)3151(代表)	電話：048(600)6513
048(600)1336(課直通)	

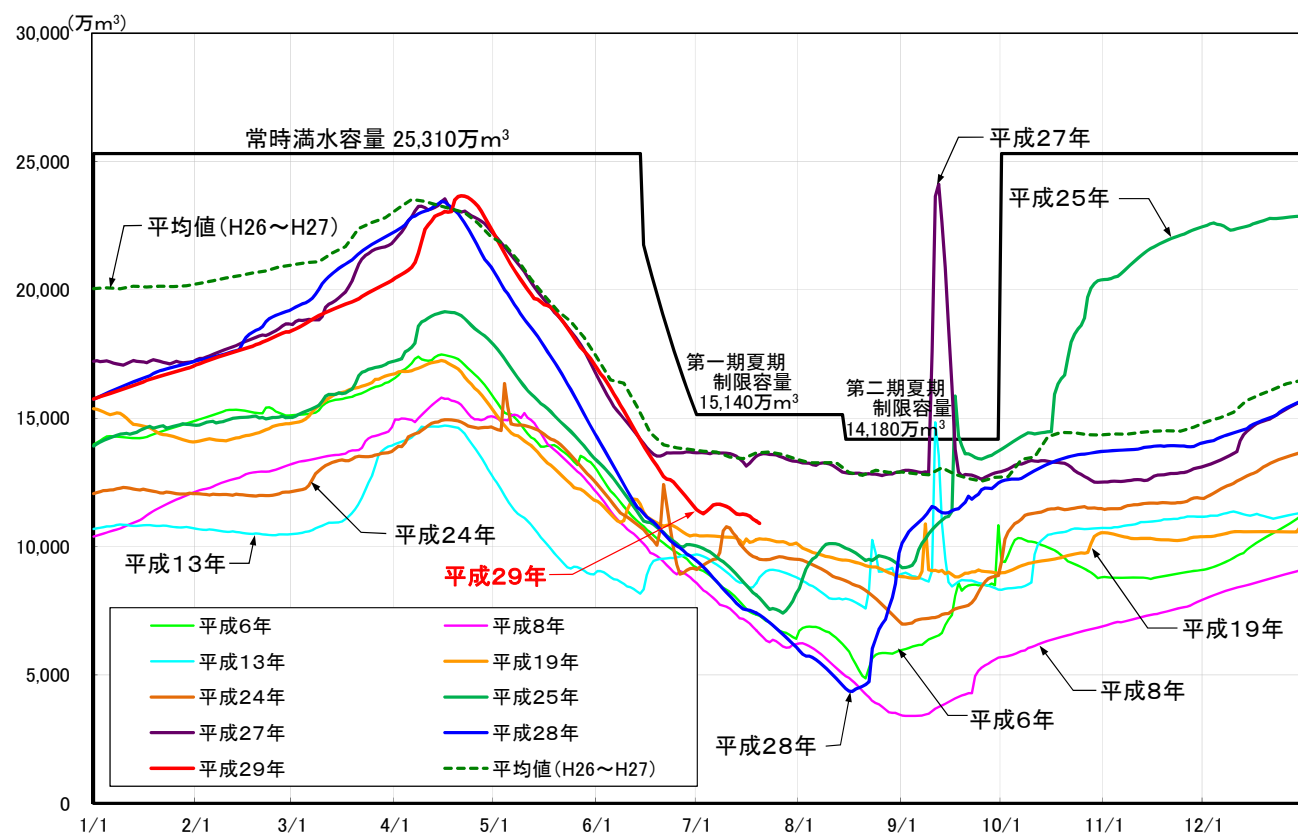
○利根川上流 8 ダム 貯水状況【平成 29 年 7 月 20 日 0 時現在】



ダム名	矢木沢 ダム	奈良俣 ダム	藤原 ダム	相俣 ダム	藺原 ダム	下久保 ダム	草木 ダム	渡良瀬 貯水池	8ダム 計
貯水量	11,275	7,050	1,342	870	191	5,850	2,580	1,165	30,323 (万 m^3)

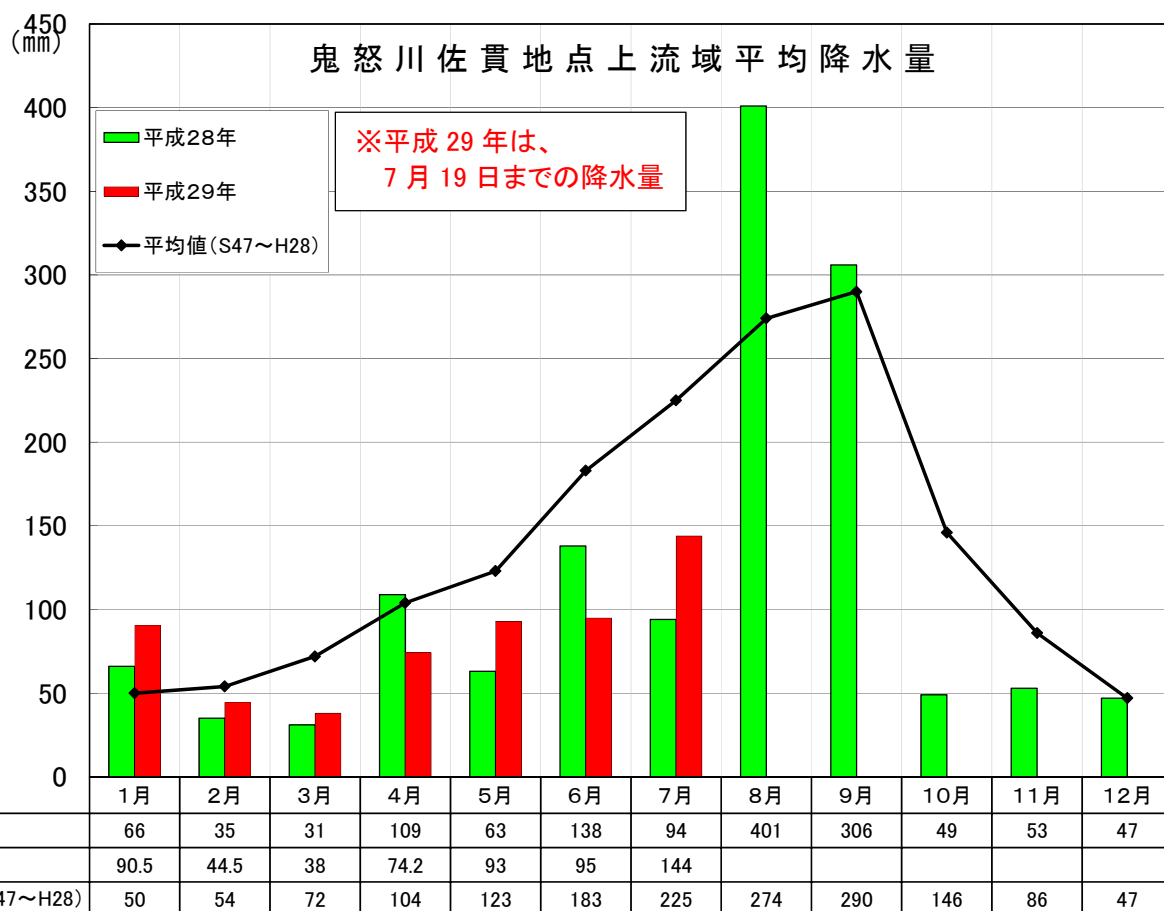


○鬼怒川上流4ダム 貯水状況【平成29年7月20日0時現在】

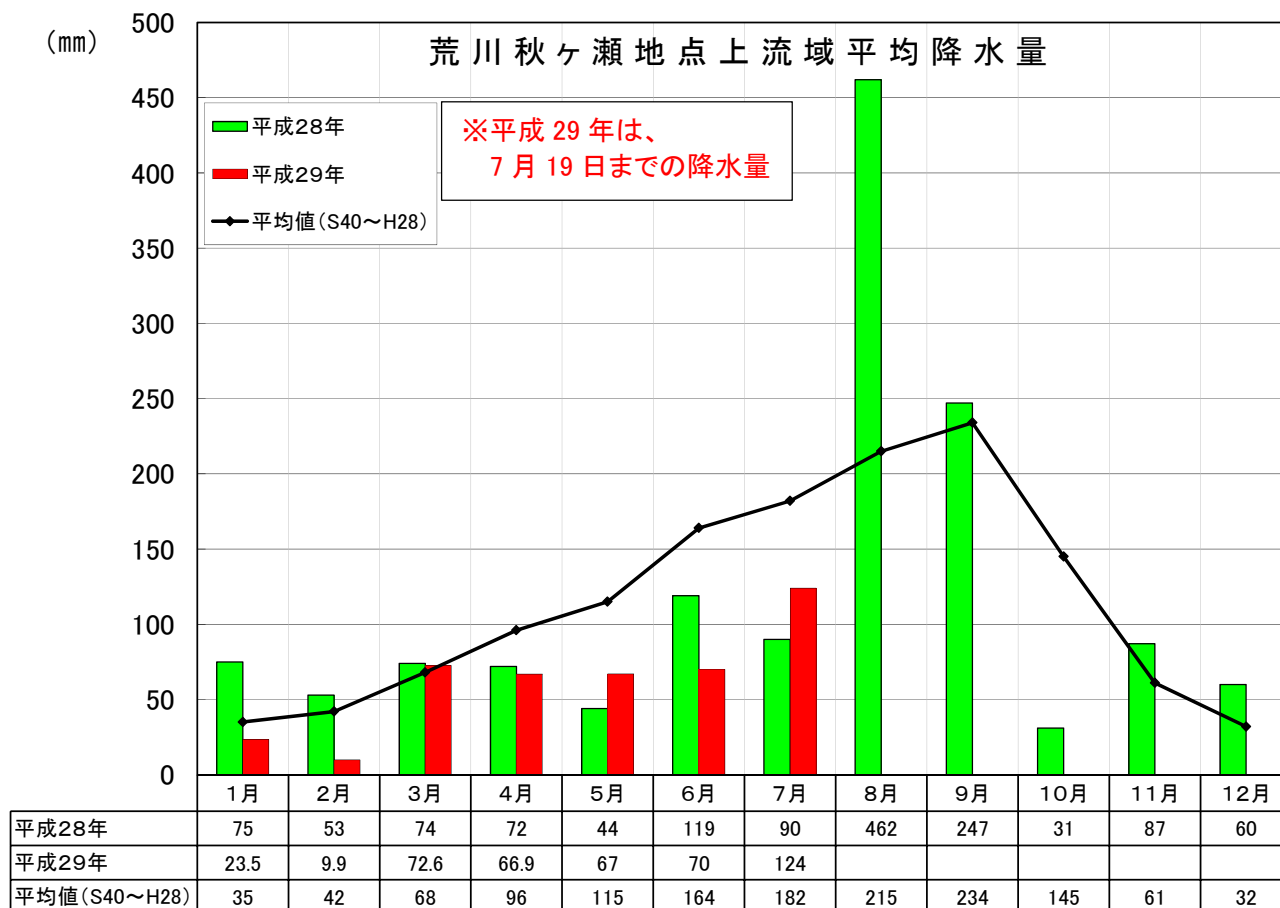
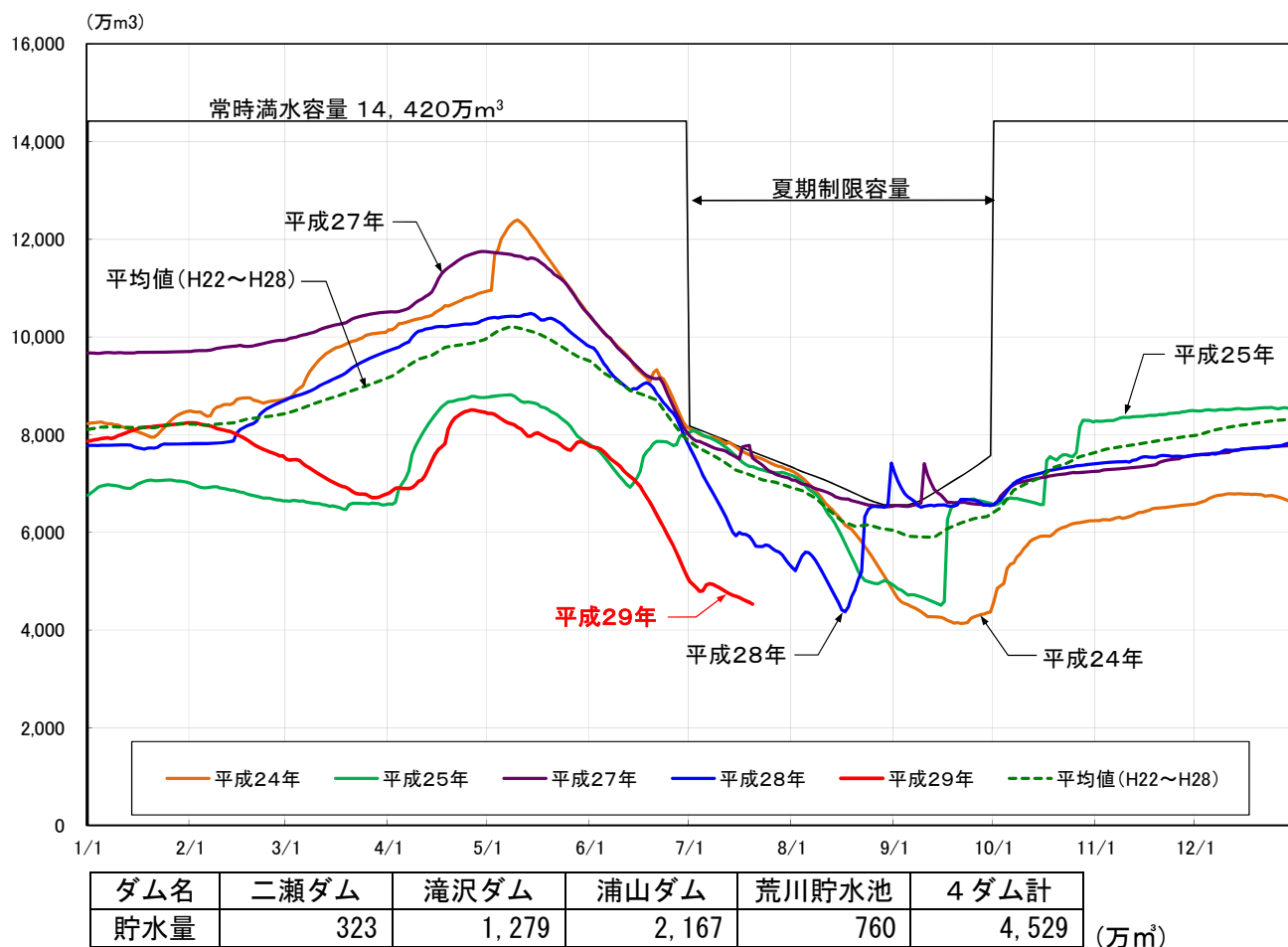


ダム名	五十里ダム	川俣ダム	川治ダム	湯西川ダム	4ダム計
貯水量	407	4,055	3,098	3,345	10,905 (万 m^3)

※平均値は湯西川ダムが完成して4ダムで運用している平成25年から集計し、渇水年であった平成25年と平成28年は除いております。



○荒川上流4ダム 貯水状況【平成29年7月20日0時現在】



関東甲信地方 1か月予報

(7月22日から8月21日までの天候見通し)

平成29年7月20日
気象庁地球環境・海洋部 発表

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、降水量が少なく気温の高い状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

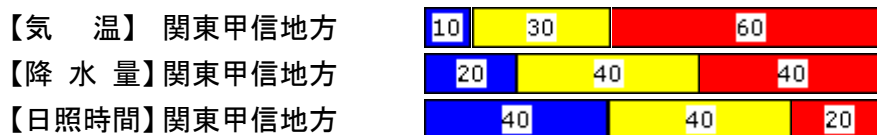
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: 低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月22日(土)～ 8月21日(月)
1週目 : 7月22日(土)～ 7月28日(金)
2週目 : 7月29日(土)～ 8月 4日(金)
3～4週目 : 8月 5日(土)～ 8月18日(金)

なお、気象予報に関する詳細、及び問合せについては以下の気象庁ホームページでご確認等
お願いします。

★気象予報: 関東甲信地方 URL: http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/103_00.html

《利根川・荒川のダム位置図》



7月1日～9月30日までの「貯水率」表記について

貯水率の計算式

当日の貯水量 ÷ 有効容量

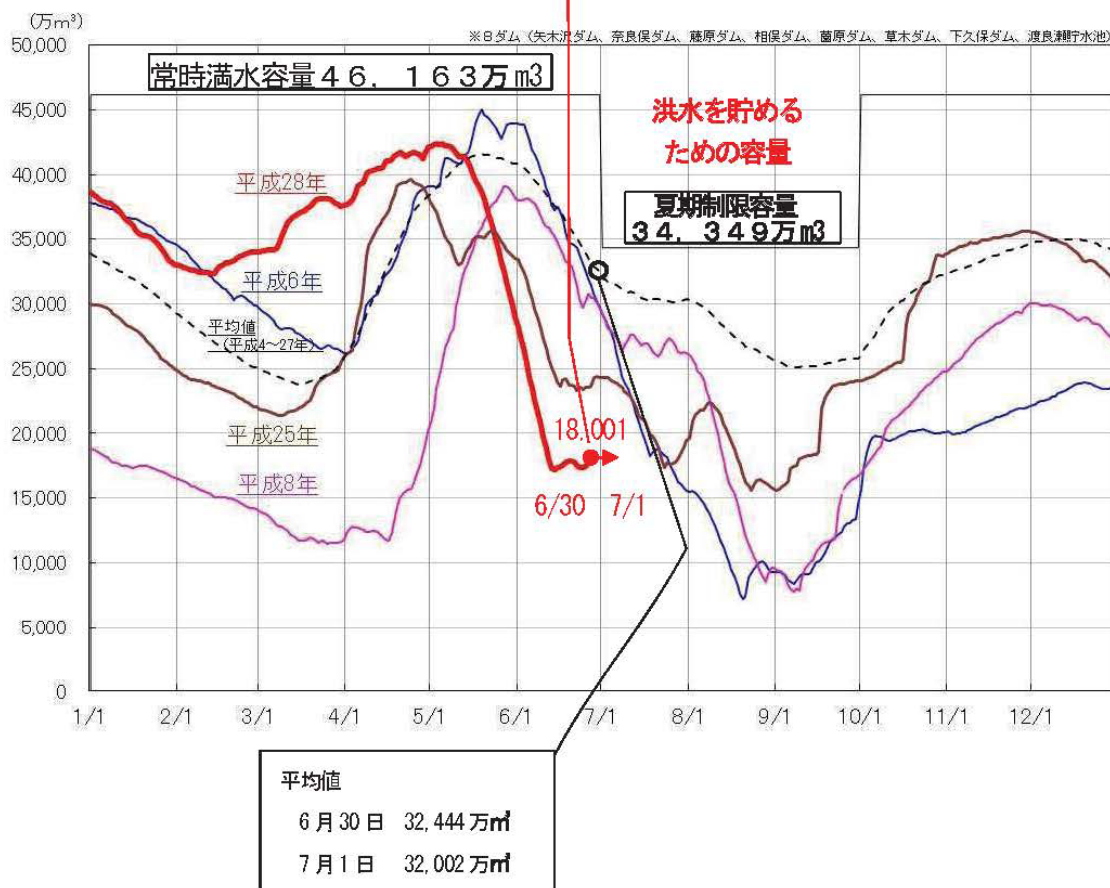
(6月30日までは、常時満水容量の46,163万 m^3)

(7月1日からは、夏期制限容量の34,349万 m^3)

●6月30日と7月1日の貯水量が、同じ18,001万 m^3 だった場合に貯水率は…

6月30日の貯水率 = $\frac{18,001 \text{ 万}\text{m}^3}{46,163 \text{ 万}\text{m}^3} = 0.389 \div 39\%$

7月1日の貯水率 = $\frac{18,001 \text{ 万}\text{m}^3}{34,349 \text{ 万}\text{m}^3} = 0.524 \div 52\%$



●8ダム貯水量の平均値の貯水率を表すと、下記の通りとなります

6月30日平均値の貯水率

= $\frac{32,444 \text{ 万}\text{m}^3}{46,163 \text{ 万}\text{m}^3} = 0.702 \div 70\%$

7月1日平均値の貯水率

= $\frac{32,002 \text{ 万}\text{m}^3}{34,349 \text{ 万}\text{m}^3} = 0.931 \div 93\%$

7月1日からの利根川上流8ダムの貯水状況の変更イメージ

※6月30日と7月1日が同じ貯水量であっても以下のように貯水率は変更されます。

【6月30日まで】

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)
矢木沢ダム	11,550	2,477	21
奈良俣ダム	8,500	4,120	48
藤原ダム	3,101	1,469	47
相俣ダム	2,000	1,060	53
蘭原ダム	1,322	300	23
下久保ダム	12,000	5,123	43
草木ダム	5,050	2,232	44
渡良瀬貯水池	2,640	1,220	46
8ダム合計	46,163	18,001	39

【7月1日～9月30日】

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)
矢木沢ダム	11,550	2,477	21
奈良俣ダム	7,200	4,120	57
藤原ダム	1,469	1,469	100
相俣ダム	1,060	1,060	100
蘭原ダム	300	300	100
下久保ダム	8,500	5,123	60
草木ダム	3,050	2,232	73
渡良瀬貯水池	1,220	1,220	100
8ダム合計	34,349	18,001	52

※貯水量は、仮の値入力

※矢木沢ダムについては、7月1日以降の有効容量の変更無し。

URL：首都圏の水資源状況について（利根川水系のダムの貯水状況）

http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river_shihon00000111.html